

「ロングライフデザイン」を考え伝えるデザインの拠点が福島県に  
**D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY 2023年6月5日（月）オープン**



名称：D&DEPARTMENT D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY

（読み ディアンドデパートメント フクシマ バイ コオリヤマ シティ）

住所：福島県郡山市燧田 195 JR郡山駅 2F こおりやま観光案内所内

営業時間：10:00~20:00 不定休 / 電話：024-983-9700

URL：<https://www.d-department.com/ext/shop/fukushima.html>

Instagram：@d\_d\_fukushima Facebook：@d.and.department.fukushima Twitter：@d\_d\_FUKUSHIMA

面積：53.05㎡ / オープン日：2023年6月5日(月) / 運営：ヘルベチカデザイン株式会社

プレス提供画像：<https://shorturl.at/frvCO>

息の長いその土地らしいデザイン＝「ロングライフデザイン」を発掘し紹介する、D&DEPARTMENT PROJECT（代表：松添みつこ/東京都世田谷区）は、福島に根ざしたデザインから街づくりにも取り組む、ヘルベチカデザイン株式会社（代表：佐藤哲也/福島県郡山市）をパートナーに、D&DEPARTMENTの東北初拠点となる福島店を、2023年6月5日（月）にオープンします。

福島店は、2023年3月に「東北のヒト・コト・モノを紡ぐワクワクする観光拠点づくり」をテーマにリニューアルオープンした「こおりやま観光案内所」内に併設し、活動を展開していきます。福島県や地元郡山市を始めとする地域のロングライフデザインアイテムを発掘し紹介するほか、郡山市を起点に、各地域のその土地らしさを体験できる、新しい旅や旅行スタイルを提案します。また、地域コミュニティと連動しながら、勉強会やワークショップを企画し、様々なデザイン活動を積極的に行います。JR東日本の新幹線と在来線各線が乗り入れ、東西南北へ向かう路線の結節点となっている郡山駅構内という立地を活かし、地域住民や通勤通学客から観光客まで、幅広く集まるこの拠点から、福島らしさを発信し、生産者と生活者、地域住民と観光客との新たな交流を生む起点となるような取り組みを行っていきます。

D&DEPARTMENT PROJECTはデザイナー、ナガオカケンメイが主宰するストアスタイルの活動体です。地域のロングライフデザインを発掘し、その地域らしさを伝えるコミュニティショップでありネットワークとして展開しています。2000年の東京都世田谷区の1号店オープン以来、リアルな売場を持ちながら、その土地に根ざしたデザイン活動を広めるべく47都道府県に1箇所ずつ、現地のパートナーとともに拠点をつくる計画を開始し、現在は国内に10店舗（北海道、埼玉、東京世田谷、東京渋谷、富山、愛知、三重、京都、鹿児島、沖縄）、国外は韓国に2店舗（ソウル、チェジュ）と中国に1店舗（黄山）を構えています。今回の福島店は、東北エリアで初出店であり、観光案内所との連携も国内外初の事例となります。

— 本件に関するお問い合わせ —

D&DEPARTMENT PROJECT 広報 清水 tel. 03-6427-2301 [pr@d-department.jp](mailto:pr@d-department.jp)

D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY 店長 山本 tel. 024-983-9700 [d-department-fukushima@helvetica-design.co.jp](mailto:d-department-fukushima@helvetica-design.co.jp)

● FROM FUKUSHIMA : Helvetica Design 代表 佐藤哲也

郡山市は福島県の中心に位置しており“東北の玄関口”とも言われています。東西南北、四方八方、さまざまな地域に繋がる交通のハブでもあり、人と人の関係を編むハブでもあります。東北地方初出店となる『D&DEPARTMENT FUKUSHIMA by KORIYAMA CITY』は、地域と人を繋ぐ“旅”をテーマに、JR郡山駅内にある「こおりやま観光案内所」と連携しOPENすることになりました。私たちは駅を起点に、福島県内や東北各地に長く息づく歴史や文化を体験できるマイクロツーリズムやオープンファクトリー、農業体験など、さまざまな角度から東北のロングライフデザインを伝えていきたいと考えております。一つ一つの活動を通じて、ひとりひとりの旅がより豊かなものになっていくことを心から願っています。

● FROM TOKYO : D&DEPARTMENT PROJECT 代表 松添みつこ

ヘルベチカデザインとの出会いは、2015年のd47 MUSEUM企画展「NIPPONの47人 2015 GRAPHIC DESIGN」でした。福島の良いものをより良く伝えるべく、地域との共存を目指すデザイン会社として紹介をしました。それから7年、『d design travel FUKUSHIMA』発刊のきっかけを作ってくれたのも彼らでした。「福島にこのガイドブックは絶対に必要だから」と。彼らの活動はより深化し、地元郡山から県外へと広がっていました。そして、福島号の完成後、「この繋がりを何らかの形で県内に残したい」と店舗出店の決意を頂き、このオープンが実現しました。観光案内所を拠点として展開される新たなdが、ヘルベチカデザインの福島愛で、どんな進化を遂げるのか、私たちも学びながら並走したいと思います。応援よろしく申し上げます。

● 商品例：全体で約700点のアイテムが並びます。

<福島ロングライフデザイン>

「野沢民芸工房」（会津若松市）の赤べこ、「柿崎文雄工房」（耶麻郡猪苗代町）の中ノ沢こけし、「デコ屋敷大黒屋」（郡山市）の三春駒、「漆とロック」や「関美工堂」（共に会津若松市）の漆器、「樹ノ音工房」や「宗像窯」（共に大沼郡）の会津本郷焼の器、「松永窯」（西白河郡）の大堀相馬焼の器、「ぶんどく」（二本松市）のテーパーバケット、「iriser」（南相馬市）のアクセサリー、「sazaré」（須賀川市）の腕時計、「仁井田本家」（郡山市）のお酒や酒粕を使ったお菓子、「あんざい果樹園」（福島市）のりんごジュース など、生活道具はじめ民藝品や食品

<福島ロングライフデザイン × D&DEPARTMENT>

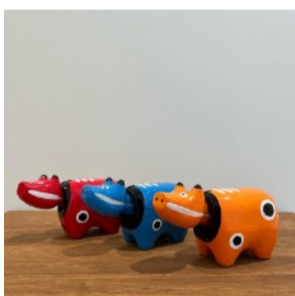
「HARAPPA」と「IIE Lab.」の会津木綿を使った、D&DEPARTMENTオリジナル BAG FROM LIFESTOCK

<東北ロングライフデザイン>

「弘前こぎん研究所」（青森）のこぎん刺しを用いた小物アイテム、「及源鑄造」（岩手）の鑄物製品、「東北工芸製作所」（宮城）の玉虫塗を用いたグラス、「藤木伝四郎商店」（秋田）の樺細工、「青龍窯」（山形）の平清水焼の器などの、生活道具はじめ民藝品や食品

<D&DEPARTMENTオリジナル>

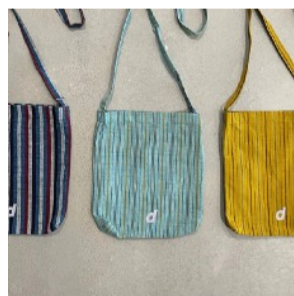
靴箱、Sampling Furniture Container サンボックス、BAG FROM LIFESTOCK、d roomアイテム、d WEAR、Long Life Plastic Project マグカップ、『d design travel』シリーズ、福島店ネーム入りラゲージタグ など



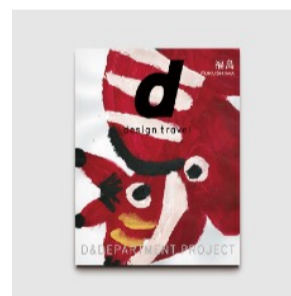
野沢民芸工房の赤べこ  
(カラフルべこは在庫限り)



あんざい果樹園の  
りんごジュース



会津木綿を使った  
BAG FROM LIFESTOCK  
【福島店限定】



『d design travel』シリーズ  
写真は福島号



福島店ネーム入り  
ラゲージタグ  
【福島店限定】

● 併設のギャラリースペースについて

福島店では、併設するギャラリースペースも運営します。福島県や東北エリアなどのものづくりや文化を紐解くさまざまな展示を通じて、郡山市を軸に、旅が始まる、旅が生まれる、新しい地域観光の提案をしていきます。今回の福島店のグランドオープンに先駆け、ギャラリーでは、3月26日（日）より第一弾企画となる「d design travel FUKUSHIMA展」を開催中です。『d design travel』の30県目として、2022年5月に発刊された福島号から、編集部が福島県に約2ヶ月もの間、暮らすように滞在し、地域の方々とさまざまな会話や体験を通じて見つけた「福島らしさ」の記憶を凝縮して紹介します。今後も約3ヶ月毎に企画を変え、展示を行っていきます。

